

コロナ感染再拡大で高まる中国リスク



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 中国景気悪化は日米企業に打撃

中国政府が新型コロナウイルスを徹底して抑え込む「ゼロコロナ」規制を強化していることもあり、中国景気の減速が鮮明となっています。国家統計局が4月30日に発表した4月の中国製造業PMI（購買担当者景気指数）は47.4（前月比2.1ポイント低下）と2ヵ月連続で好不況の分かれ目となる50を下回りました。3月から各地で続く都市封鎖の影響を大きく受け、生産や新規受注、サプライヤー納期などの指数の悪化が目立ちます。

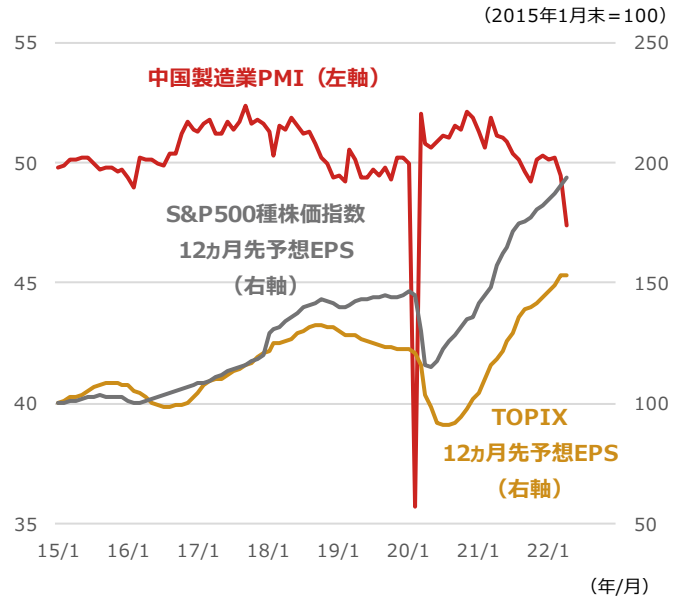
中国景気の下振れは日米企業の業績に影響を落とします。過去にも中国製造業PMIが50を下回り、中国景気が悪化した局面では、S&P500種株価指数やTOPIX（東証株価指数）の12ヵ月先予想EPS（1株当たり利益）の伸び鈍化や減少につながった経緯があります（右上図）。

ポイント② 感染拡大に歯止めの兆しも

中国当局によるコロナ封じ込め策の徹底により、感染拡大に歯止めがかかる兆しがみられてきたことは支援材料となりそうです（右下図）。今後、新規感染者数がピークアウトしていけば、中国当局は年前半の景気の落ち込みを挽回すべく、大規模な景気刺激策を打ち出すとの見方もあり、新規感染状況が中国経済のカギを握りそうです。

中国リスクだけでなく、足元ではロシアの軍事侵攻の長期化懸念や米金融引き締め加速懸念などもあり、世界の株式市場は波乱含みの展開となっています。ただ、こうした懸念が未来永劫続くわけではなく、政策対応などにより徐々に懸念は和らいでいきます。当面は不安定な相場局面が続きそうですが、複数回に分けて投資する「時間分散」を心掛けることが重要といえそうです。

中国製造業PMIと日米株12ヵ月先予想EPS



期間：（中国製造業PMI）2015年1月～2022年4月、月次
（日米株予想EPS）2015年1月末～2022年4月末、月次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

中国本土の新型コロナウイルス新規感染者数



期間：2022年1月3日～2022年4月30日、日次
（出所）Our World in Dataより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。